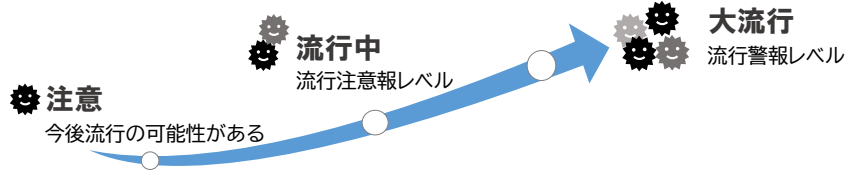


2024年
12月号
横浜市
衛生研究所

感染症に 気をつけよう

今月の感染症流行状況



疾患名	流行状況	説明
マイコプラズマ肺炎	流行中	7月以降報告数が増加 減少の兆しは見られない
インフルエンザ	流行中	10月末に流行期入り 市内でも学級閉鎖の報告が増加
伝染性紅斑	大流行	6月以降患者数が増加 12月上旬に流行警報発令
梅毒	流行長期化	20～50歳代が中心だが 10歳代の報告もあり

今月のトピック

冬に流行する感染症「感染性胃腸炎」

01 主な症状・特徴

吐き気、おう吐、下痢、腹痛



ノロウイルスが原因であることが多く
特に冬季に流行します。

ノロウイルスは感染力がとても強く
少ないウイルス量でも感染します。
予防策を徹底しましょう。

＼ここからダウンロード／



感染性胃腸炎リーフレット
(横浜市感染症情報センター)

02 予防策



食事の前
トイレの後など
必ず手洗い！

流水と石けんで手洗い



便や吐物には
大量のウイルスが
含まれます。
適切に消毒！

次亜塩素酸ナトリウムで消毒



症状がある方は
食品を直接
取り扱う作業を
しない！

食品を扱う方は注意

具合が悪いときは、無理せず休むのも重要！

横浜市感染症情報センター 12月13日発行



横浜市感染症
情報センター